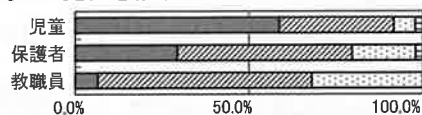


## 児童・保護者・教職員の三者比較 令和6年度 学校評価アンケート

<回答> ☒ そう思う ☒ どちらかと言えばそう思う ☐ どちらかと言えばそう思わない ☐ そうは思わない

### 設問1 家族、地域の方、友達へのあいさつ

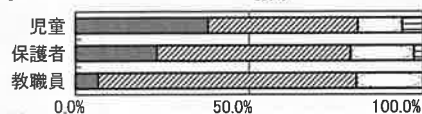


【設問1】児童は多くができていていると感じている。保護者も概ねできていていると感じている。教職員は、あいさつ運動などの広がりを感じ昨年度よりかなり肯定的な回答が増えており、児童の力を信じさらなる期待をしている。

○あいさつ運動を教師と子どもがともに行うという今の雰囲気大切に続ける

★子どもと教師が一体となって意識をさらに高める取り組みを進める。

### 設問2 お互いのよさを認め合う言動

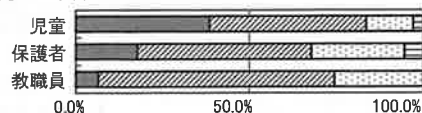


【設問4】児童の9割近くが疑問を解決しようという意識をもって学びをすすめていると感じている。児童と保護者・教職員との意識に開きがあるので、問題解決的な学びをさらに進め、学びの様子についての情報発信を充実させていく。

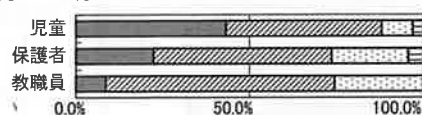
○単元との出会いを工夫して授業づくりを進めることで、子どもたちの学びが深まってきた。

★主体的に学ぶ力をつけるための、授業や家庭学習のあり方をこれからも考え、子どもの学びを進めていきたい。

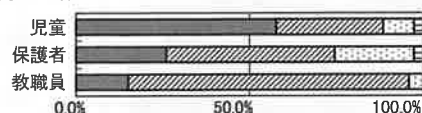
### 設問3 授業での基礎基本の定着



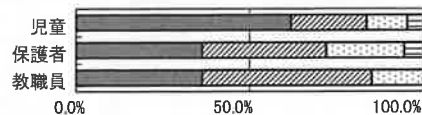
### 設問4 自分の考えをもち、学び合う授業づくり



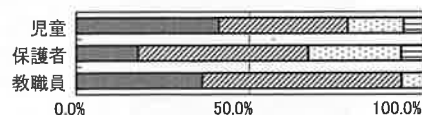
### 設問5 体力づくりへの意欲的な取り組み



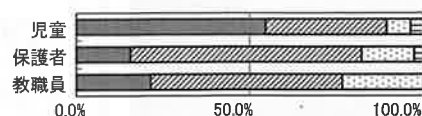
### 設問6 望ましい生活習慣に対する意識



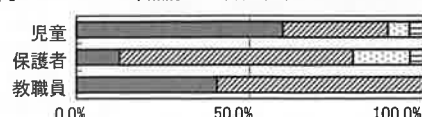
### 設問7 各種おたより・新聞・HPでの情報発信



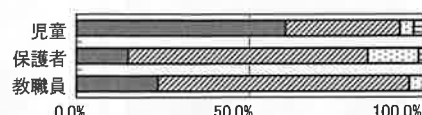
### 設問8 家庭・地域との連携



### 設問9 いじめの未然防止と早期解決



### 設問10 教職員の協力体制づくり



### 設問11 業務改善と働き方改革の取り組み



【設問6】運動場が全面使用できるようになった。また、校舎内に体力測定コーナーを設けたりすることで、8割以上の子どもがすすんで運動できたと感じている。教職員も子どもたちと一緒に遊んでいる姿が多く見られる。

○体力測定・ベジチェックコーナーを設けたことで、自分の体に関心を持つようになってきた。

★のびのびと体を動かせる場所の確保や用具をさらに充実させ、活用方法を考えていきたい。

【設問8】児童は地域の方たちとの活動を楽しんでいる。学習や活動に効果的に取り入れることをさらに進めることで、今後も地域とともに学校づくりをすすめていきたい。

○地域教材やゲストティーチャーを積極的に取り入れることが、子どもの意欲的な学びに繋がっている。

★地域の方など人と触れ合う場を積極的に取り入れる。

【設問9】保護者と教職員の意識との間にやや開きが見られる。いじめの早期解決や相談活動など児童はもちろんのこと、保護者の心にも寄り添ったきめ細かな対応ができるよう取り組みを進めていく必要がある。

○生活アンケートや面談週間を活用して、子どもと向き合い、寄り添った取り組みを進めた。

★速やかな対応と事後指導や連絡を丁寧に行うことで子どもや保護者がより安心できるように進めていきたい。



【設問11】教職員の意識の向上と協力体制づくりについて概ね肯定的にとらえられている。具体的に改善が必要となる箇所を見極めて、教職員が心身ともに元気な姿で、児童のために向き合えるようにさらに取り組んでいく。